

## 5-2. 基盤整備「多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実とバリアフリー化の推進」

基盤整備の視点『多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実とバリアフリー化の推進』を実現するため、①～⑦の整備方針を定めます。

### ①バスターミナルの再整備

- 再整備するバスターミナルは、駅南口周辺に点在するバス停留所を集約することを基本とし、北5西2街区は市内路線中心、北5西1街区は都市間中心として、それぞれ1階に配置します。また、効率の良いバスターミナル運用を目指し、周辺交通の状況に配慮しつつ、2つの街区と併せ、エリア全体でバス乗降機能を確保することも検討します。
- 利用者の待合空間は、両街区にまたがるバスターミナルへのアクセスを考慮した配置を基本とするとともに、商業施設等との連携を図るなど、利用者の快適性と利便性が向上するよう検討します。また、交通運行情報をリアルタイムで提供するほか、災害や雪害の発生時も想定した情報の発信や施設機能の確保等についても検討します。
- 北5西2街区のバスターミナルには、現状を踏まえ西3丁目線を北進して入り西2丁目線へ出て南進し、北5西1街区のバスターミナルには、創成川通からの出入りをそれぞれ基本とします。
- 周辺の交通状況等に配慮し西2丁目線の円滑性確保策について、南進一方通行化を含めて幅広く検討します。
- 再整備するバスターミナルの規模は22～25バス程度を基本とし、駅周辺エリア全体で一般車駐車場、荷捌き、タクシー、車寄せ等の配置および必要な諸機能を考慮して配置を検討します。



バスターミナルのイメージ  
オアシス21（名古屋市）



バスターミナルのイメージ  
バスタ新宿（東京都新宿区）

### ②都心アクセス道路（創成川通の機能強化）との連携

- 都市間バスが中心となる北5西1街区のバスターミナル出入口を創成川通に配置することを基本とし、都心アクセス道路（創成川通の機能強化）との連携を図ります。

### ③新幹線利用者に対する交通乗継施設の整備

- 新幹線利用者に対応したタクシー乗降場、一般車乗降場を新幹線駅前に整備するとともに、観光・団体バス乗降場、レンタカー受付等については、当地区を含む駅周辺エリア全体で確保します。

#### ④乗換動線の整備

- デッキレベルの歩行者動線、既存の地下歩行ネットワークと接続した地下動線、それらをつなぐ縦コア動線の形成等により、新幹線駅と地下鉄やJR在来線など、多様な交通モード間の円滑な乗換動線を確保します。



縦コア動線のイメージ  
クイーンズスクエア（横浜市）



多様な交通モードのイメージ

#### ⑤公共自転車駐車場の確保

- 現在の北5西1街区の公共自転車駐車場と同程度の台数を保持する前提で、当地区を含む駅周辺エリア全体で確保することを検討します。

#### ⑥誰にでもわかりやすく、使いやすいユニバーサルデザインの歩行者動線の整備

- 公共交通施設間の乗換利便性や回遊性の向上、バリアフリーに配慮した動線を形成します。
- 周辺施設とも連携し、施設間相互においてもバリアフリー化を図ります。
- わかりやすい誘導サインを適切な位置に配置するとともに、海外からの観光客等に対応した誘導サインの多言語化を推進します。

#### ⑦各交通施設等への対応

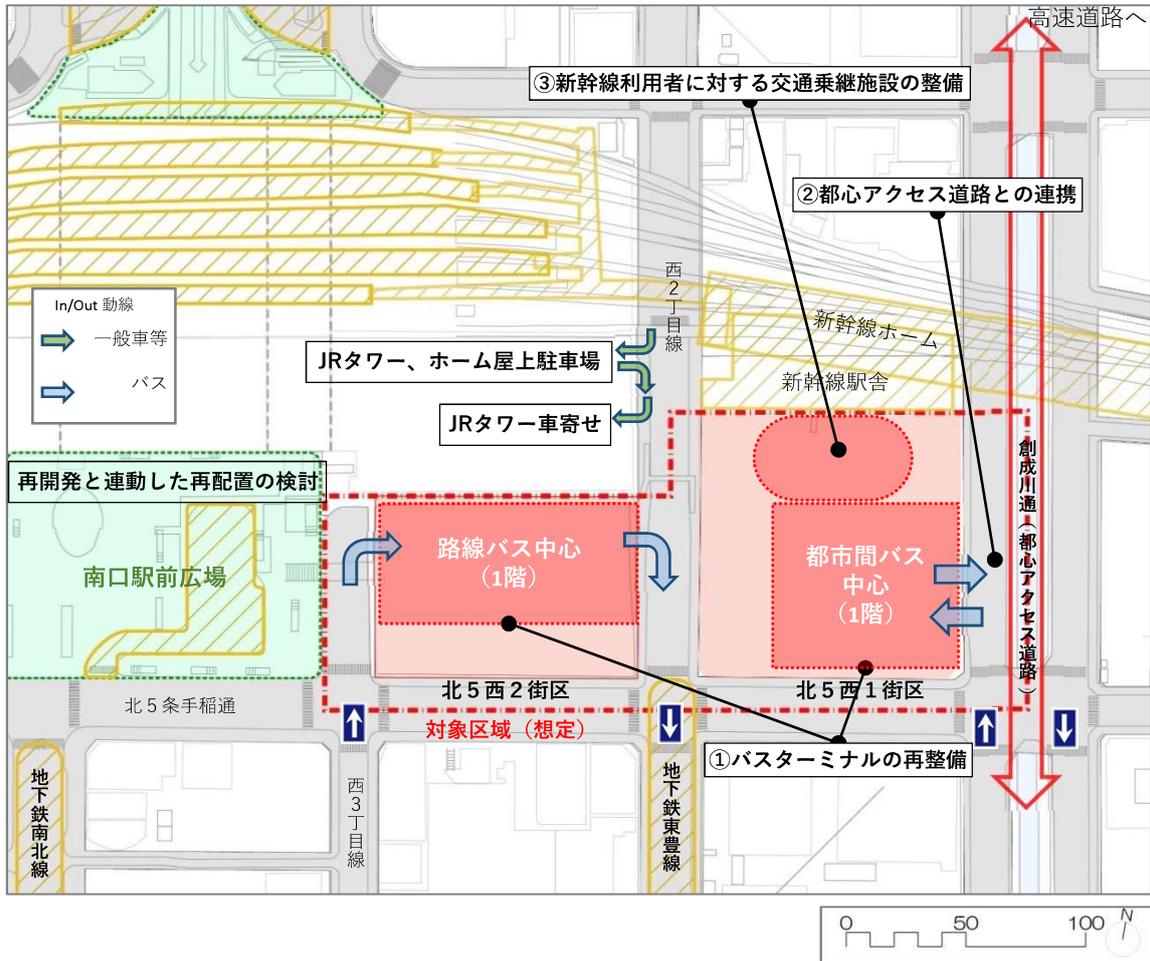
- 北5西1・西2地区及び周辺の再開発等による新たな交通・駐車需要想定を適切に行い、周辺交通に十分配慮します。
- 路面電車については、都心・創成川以東・桑園の3地域への延伸検討が進められていることから、当該検討状況を十分踏まえます。
- 公共交通を補完するシェアサイクルやカーシェアリング等の利活用への対応を検討します。
- 研究が進められる自動運転技術等の技術革新による次世代モビリティの動向や社会的ニーズの変化を踏まえて対応することを目指します。



次世代モビリティのイメージ

【対象区域における整備方針の全体イメージ】

基盤整備イメージ 自動車動線



基盤整備イメージ 歩行者ネットワーク

